

令和元年度第1回野洲市都市経営審議会 結果報告

1. 開催日時等

令和元年7月12日（金）14時00分～15時50分

於：野洲市役所2階 庁議室

2. 委員等

＜出席委員（7名中7名）＞

50音順

1号委員（学識経験者）

石井 良一 委員 新川 達郎 委員

中辻 摩耶 委員 西川 照美 委員

2号委員（関係団体を代表する者）

田中 康嗣 委員

3号委員（市長が認める者）

久保 朋子 委員 津留崎 親 委員

＜傍聴者＞

1名

3. 報告案件

1) 行財政改革推進計画の実績報告について（○委員、●行政）

○現時点では実施しないと判断した項目について、その判断に至った主な理由は何か。

→●それぞれ事業毎に個別に検討し、判断に至っている。例えば広報の配布をポスティングにするという項目については、現状の冊数ではポスティングの方がコストがかかるため、現状どおりの新聞折込を継続するという判断を行った。他の項目についても、次期計画期間である今後5年以内に状況が大きく変わる見込みのない項目については、一旦現状維持という判断を行っている。

○遊休資産の処分について、平成26年度に高い効果額を得ている原因は何か。また、現在残りどれくらいの遊休資産があるのか。

→●平成26年度は旧消防署の跡地を売却し、予想以上の高額で売却できたことが要因である。遊休資産のリストは、次のアクションプランで進捗管理を行うため、現在リストの整理をしているところである。

4. 議事案件

1) 経営改善アクションプランについて (○委員、●行政)

○目標の見直しはどれくらいの頻度で行うのか。

→●現時点では年1回、定期的に本アクションプランの評価や進捗管理を行う想定をしている。目標と現実が乖離している場合にはその際に目標の見直しを行うのが原則となるが、年度途中であっても余りに乖離が見られるのであれば、必要に応じて見直しを行う。

○計画そのものの進捗管理の仕組みを今後整理する必要がある。

○人事評価について、評価が悪いともめることがあるのではないかと。下から上への評価制度があってもいいと思う。また、成長させることを目標とした人事評価なら、評価が低い部分を押し上げるような教育や研修を考えられれば成長につながると思うので検討した方がいいのではないかと。

→●現在も下から上への評価は実施している。また、結果については個人面談でフォローしており、また不服申立を行う制度もあり、今まで問題となったことはない。

○人事評価の能力評価の項目が職階によって異なっているが、例えば挑戦意識は部長にも必要ではないかと。今後制度の見直しの時には改善いただければと思う。

○職員提案制度で提案がないのはなぜか。提案の中には事務効率をあげるような提案もあれば、経費が削減できるような提案もある。経費が削減できた場合は何%か本人にも恩恵があると提案が出やすくなるのではないかと。より提案が出る制度となるよう検討をすればいいと思う。

→●提案件数がないのは、制度についての周知ができておらず、職員でも知らない者が多いのも一因である。現在は提案を採用するかしないのかの審査を行うのみの制度であるが、今後の理想としては、経費の削減効果額を人事評価に反映できるような制度に改善できればという思いはある。

○職員提案制度は、月に1つ、業務改善について等テーマを設けるのも良いと思う。何でもいいから出してほしい、では出しにくいのではないかと。

○P8の評価の数値目標は、改善の実施件数又は改善につながる評価をできた件数を目標とすることはできないか。評価するだけで改善ができないと意味がない。

→●事務事業全てを評価するのか、一定の基準を設けて抽出するのか、評価の範囲から制度設計を行う必要がある。評価範囲が定めれば、件数を目標にすることも考えられる。

→○令和元年度の目標は評価制度の完成とし、その後数値目標をたてればいいのではないかと。

○P11の予算編成について、あと数ヶ月で次の予算編成の時期になるが、アクションプランを契機に枠配分の導入等新たな試みをするのか。新規事業の要求は必ず事業のスクラップとセットで出す、新規事業の優先順位付けを部単位で行う等のやり方が考えられる。

→●現在もスクラップアンドビルドの徹底等は予算編成方針には謳っているが、意識して要求する課とそうでないところ、また敢えて義務的経費を削ってきて後で補正が必要となるところ等があり苦慮しているところである。一足飛びに解決はしないが、スクラップアンドビルドの意識付けや周知を財政課と協力して続ける。

→○他市では、スクラップロードマップを作ったところもある。原課でも止めたいと思っている事業は実はあるのではないか。自主的にスクラップをやってもらうのも一つの方法ではないか。

○A I の導入は他市と連携で行うと聞いていたように思うがどうか。

→●クラウド協議会でシステムを他市と共同調達している業務については、運用も似通った部分が多く、導入しやすい。規模の小さい市では導入にあたってコスト面が課題となるが、そこもカバーできる。クラウド協議会の構成市でA I の実証実験を行っているところがあり、そこと連携できれば一番良いと考えている。

○時間外勤務の削減は具体的には何を行う予定か。

→●現在もノー残業デーを設定しておりその徹底や、今年度は新たに働き方改革の研修や業務改善の職場内研修等も実施される予定である。

→○時間外勤務については課によって月によってまた個人によってもバラつきがある。「時間外勤務をしていない＝効率よく仕事をしている」という評価につながる仕組みを持つといいと思う。

○職員の質がこの2、3年で上がったと感じている。これまでは挨拶もしない職員もいたが、大分風通しが良くなった。

→●人的資源を高めれば、他の時間・情報・財源等の全ての資源は高まると考えている。人的資源の質の向上が最も重要と考えている。

4. その他

1) 経営改善に関する取り組みの状況について

○ネーミングライツ料はいくらで、何に使用するのか。

→●年間150万円で施設の維持管理費として使用する。

○公園の整備は大切だと思うが、その後の維持管理ができずに使えなくなっている公園もある。公園を作った後の維持管理やメンテナンスの費用はどうするのか。

→○都市計画税を直接充てることはできないが、都市計画税導入により浮いた財源をそちらに充てることは可能である。

→●施設の維持にも力を入れてほしい。市役所周りの草も気になる。きれいにしてほしい。

2) 今年度の年間スケジュールについて

●今年度は今回を含め、会議を3回程度予定している。2回目は秋に、アクションプランの進捗状況の報告や意見を頂きたいところがあれば審議を願う。日程調整は改めて行う。

→○日程調整は早めに願う。